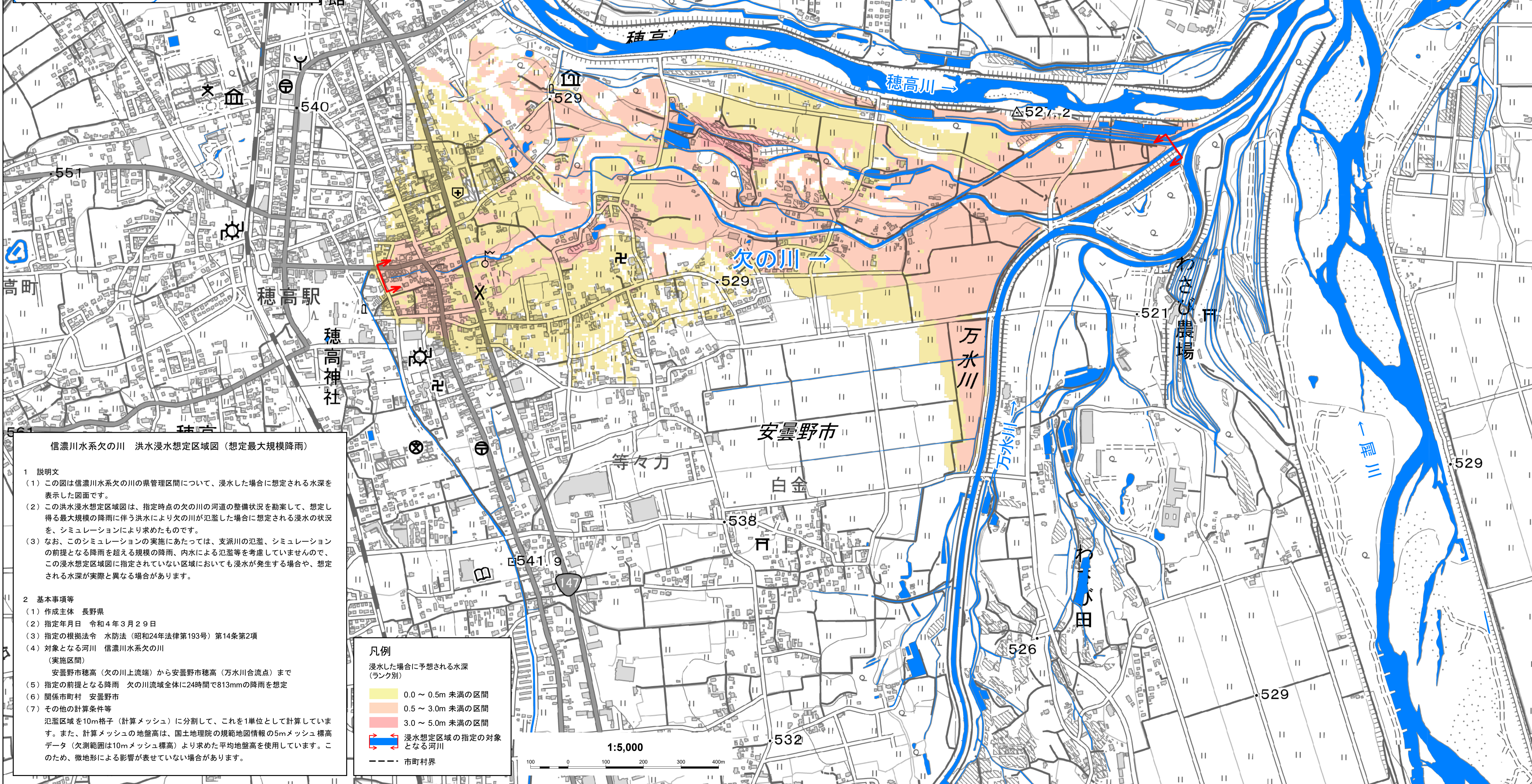


信濃川水系欠の川 洪水浸水想定区域図(想定最大規模降雨)



信濃川水系欠の川 洪水浸水想定区域図(想定最大規模降雨)

1 説明文
 (1) この図は信濃川水系欠の川の県管理区間について、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
 (2) この洪水浸水想定区域図は、指定時点の欠の川の河道の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により欠の川が氾濫した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより求めたものです。
 (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支派川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域図に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際と異なる場合があります。

2 基本事項等
 (1) 作成主体 長野県
 (2) 指定年月日 令和4年3月29日
 (3) 指定の根拠法令 水防法(昭和24年法律第193号)第14条第2項
 (4) 対象となる河川 信濃川水系欠の川
 (実施区間) 安曇野市穂高(欠の川上流端)から安曇野市穂高(万水川合流点)まで
 (5) 指定の前提となる降雨 欠の川流域全体に24時間で813mmの降雨を想定
 (6) 関係市町村 安曇野市
 (7) その他の計算条件等 氾濫区域を10m格子(計算メッシュ)に分割して、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は、国土地理院の規範地図情報の5mメッシュ標高データ(欠測範囲は10mメッシュ標高)より求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響が表せていない場合があります。

凡例

浸水した場合に予想される水深(ランク別)

- 0.0 ~ 0.5m 未満の区間
- 0.5 ~ 3.0m 未満の区間
- 3.0 ~ 5.0m 未満の区間

浸水想定区域の指定の対象となる河川

--- 市町村界

